

手順は以下のとおり。

- 1) インストールファイルのアップロード
- 2) データベースの作成
- 3) ローダーの設置
- 4) NEOのインストール

#### 1) インストールファイルのアップロード

インストールに必要なファイル一式をサーバにアップロードする。  
今回は、  
/あなたのサーバーのパス/public\_html/test/  
以下にアップロード。  
neoディレクトリのパーミッションは777にする。

#### 2) データベースの作成

以下のようにデータベースを作成する

### MySQL設定

[関連マニュアル](#)

MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。  
MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

MySQL一覧 **MySQL追加** MySQLユーザー一覧 MySQLユーザー追加

MySQLデータベースを追加しますか？

MySQLデータベース	stepmail_neo
文字コード	UTF-8

戻る 追加する

ユーザも以下のように作成する。

MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。  
MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

MySQL一覧	MySQL追加	MySQLユーザー一覧	MySQLユーザー追加
MySQLバージョン	MySQL5.7		
MySQLユーザーID <small>?</small>	stepmail_ neo		
パスワード <small>?</small>	.....		
<a href="#">確認画面へ進む</a>			

データベース一覧から、作成したデータベースを探し、以下のようにユーザを割り当てる。

stepmail_neo	MySQL5.7	ユーザーはい	stepmail_neo	削除
		削除	追加	

サーバコントロールパネルからphpMyAdminにアクセスする。

データベース Database
❖ MySQL移行ツール
❖ MySQL設定
❖ MySQLバックアップ
❖ MySQL復元
❖ <b>phpmyadmin(MySQL5.7)</b>
❖ phpmyadmin(旧MySQL5.5)
❖ phpmyadmin(旧MySQL5.0)

ユーザ名とパスワードを聞かれるので、作成時に設定したものを利用する。  
以下の赤枠のところにMysqlのホスト名が出ているので控えておく。



### 3) ローダーの設置

ブラウザから、アップロードしたneo.htmlにアクセスする。  
今回は以下。

<http://あなたのサーバーのパス/test/neo.html>

以下の順にリンクをクリックする。

以下について、説明しています。

- インストール手順
- その他 インストール関係注意事項
- インストールが正常に終わらない時のための対処

#### インストール手順

1. NEOで利用するためのデータベースをご用意ください。
2. PHPのパスをご確認ください。
3. 同じ階層にある「neo」フォルダのパーミッションを777にしてください。
4. ここをクリックしてインストールを開始してください。

#### その他 インストール関係注意事項

- インストールマニュアルはこちらをご覧ください。
- phpの設定情報の確認
- NEOを再インストールでご利用の場合の注意
- 専用サーバ、VPSでご利用される場合
- インストール手順4でサーバエラーが表示される場合

## レンタルサーバー情報

このソフトを設置するレンタルサーバー、サーバー種別を選択してください。

レンタルサーバー：	選択してください ▼
	選択肢にご利用のレンタルサーバーがない場合は、名称を
サーバー種別：	共用サーバ ▼
PHPのパス：	/usr/bin/php

## ローダー

ローダーの組み込み方を選択してください。

組み込み方：	php.iniに組み込む ▼
--------	----------------

※php.iniに組み込む場合は必ずご覧ください

NEOでは、PHPスクリプトの最適化のため、ローダーを必要とします。

ローダーについては、PHPスクリプトから動的に読み込む方法と、php.iniに設定する方法がございます。サーバ負荷を考えると、php.iniに設定するほうがよいと思いますので、専用サーバやVPSなど php.ini?

[php.iniへのローダーの組み込み方](#)

次へ »

以下のリンクのどれかからローダをダウンロードする。

## php.iniへのローダーの組み込み方

1. 以下のリンクよりローダーファイルをダウンロードしてください。(どの圧縮)

- [zip](#)
- [tar.gz](#)
- [tar.bz2](#)

2. ご利用のサーバーの適当なディレクトリに ioncube ディレクトリを作成してください。なお、この説明では、/usr/local 以下にioncubeディレクトリを作成することと読み替えてください。

3. ダウンロードしたファイルを解凍し、すべてのファイルをご利用のサーバの

4. /home xserver\_php/php.ini を編集して以下の行を追加  
zend\_extension = /usr/local/ioncube/ioncube\_loader\_lin\_5.1.so

5. apache(httpd)を再起動してください。

6. [ココ](#)をクリックしてローダーの動作テストをお願いします。

※使えるネットをご利用の場合は、[こちら](#)をご覧ください

ダウンロードしたローダを解凍し、サーバの

/あなたのサーバーのパス/public\_html/test/ld/  
以下にアップロードする。

次に、サーバのコンパネより、phpの設定変更を行う。



© 2003-2020 Xserver Inc.

まずは、php ver.切替に進み、phpのバージョンを確認する。  
Xserverでは、cli版のphpが5.1.6なので、以下になっているか確認する。  
なっていないければ変更する。

## PHPバージョン切替

関連

ドメイン単位でPHPのバージョンを切り替えることが可能です。

### PHPバージョン切替

■ 設定対象ドメイン[stepmail.xsrv.jp]

現在のバージョン	変更後のバージョン
PHP5.1.6	PHP5.1.6 (非推奨) <input type="button" value="変更"/>

次にphp.iniの設定にすすみ、以下のようにzend\_extensionにローダを設定して保存する。

ドメイン単位でphp.iniの設定を細かく設定することができます。

php.ini設定変更 **php.ini直接編集** php.ini設定初期化

設定対象ドメイン[:  
.xsrv.jp]

php.ini設定内容

```
tidy.clean_output = Off

[soap]
soap.wsdl_cache_enabled=1
soap.wsdl_cache_dir="/tmp"
soap.wsdl_cache_ttl=86400

zend_extension = /home/ /:/public_html/te
st/ld/ioncube_loader_lin_5.1.so
```

確認画面へ進む

なお、設定するファイルについて。

パスは、ローダをアップロードしたディレクトリ。

/home/Xサーバーのアカウント名/あなたのサーバーのパス/public\_html/test/ld/  
とする。ローダファイルは、以下の画面の青枠部分にあるファイルを指定する。

### php.iniへのローダーの組み込み方

1. 以下のリンクよりローダーファイルをダウンロードしてください。(どの圧縮)

- [zip](#)
- [tar.gz](#)
- [tar.bz2](#)

2. ご利用のサーバーの適当なディレクトリに ioncube ディレクトリを作成してください。  
なお、この説明では、/usr/local 以下にioncubeディレクトリを作成すること  
に読み替えてください。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、すべてのファイルをご利用のサーバ
4. /home /xserver\_php/php.iniを編集して以下の行を追加  
`zend_extension = /usr/local/ioncube/ioncube_loader_lin_5.1.so`
5. apache(httpd)を再起動してください。
6. [ココ](#)をクリックしてローダーの動作テストをお願いします。

[※使えるネットをご利用の場合は、こちらをご覧ください](#)

最後に、インストールスクリプトで以下のリンクをクリックして、組み込み結果を確認する。

## php.iniへのローダーの組み込み方

1. 以下のリンクよりローダーファイルをダウンロードしてください。
  - [zip](#)
  - [tar.gz](#)
  - [tar.bz2](#)
2. ご利用のサーバーの適当なディレクトリに ioncube ディレクトリを  
なお、この説明では、/usr/local 以下にioncubeディレクトリを作成  
に読み替えてください。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、すべてのファイルをご利用の
4. /home \_\_\_\_\_ /xserver\_php/php.ini を編集して以下  
`zend_extension = /usr/local/ioncube/ioncube_loader_lin_5.1.so`
5. apache(httpd)を再起動してください。
6. [ココ](#)をクリックしてローダーの動作テストをお願いします。

※使えるネットをご利用の場合は、[こちらをご覧ください](#)

以下のように表示されたら完了。

## php.iniへのローダーの組み込みテスト

組み込み成功

4) NEOのインストール  
インストールスクリプトに戻る。以下の部分だけ設定して次に進む。

## レンタルサーバー情報

このソフトを設置するレンタルサーバーのサーバー種別を選択してください。

レンタルサーバー:	<input type="text" value="エックスサーバー"/> <input type="text" value="エックスサーバー"/> <small>選択時にご利用のレンタルサーバーがない場合は、名称をご記入ください。</small>
サーバー種別:	<input type="text" value="共用サーバ"/>
PHPのパス:	<input type="text" value="/usr/bin/php"/>

## ローダー

ローダーの組み込み方を選択してください。

組み込み方:	<input type="text" value="php.iniに組み込む"/>
--------	-------------------------------------------

※php.iniに組み込む場合は必ずご確認ください

NEOでは、PHPスクリプトの最適化のため、ローダーを必要とします。

ローダーについては、PHPスクリプトから動的に読み込む方法と、php.iniに設定する方法がございます。

サーバ負荷を考えると、php.iniに設定するほうがよいと思いますので、専用サーバやVPSなど php.iniを修正できる場合は、[php.iniへのローダーの組み込み方](#)

mail-neo.comのログイン情報を入力する。

## ソフト一式ダウンロード

ソフト一式をダウンロードし、サーバに設置します。mail-neo.comのロ

メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
	<input type="button" value="次へ »"/>

NEOのログインパスワードと、(2)で設定・確認したmysql関係の情報を設定する。



## 管理者ログインパスワード

このソフトにログインする際に必要となるパスワードを設定してください。

管理者ログインパスワード:

半角英数字4~12字で、ご希望のパスワードを設定してください。

## データベース情報

データベースの設定情報を入力してください。

1)サーバー/ホスト:

mysql.xserver.jp

ポート番号を指定する場合は「localhost:3306」のように記述してください。

2)データベース名:

stepmail\_neo

すでに存在している場合、一旦削除され、新規に作成されます。

3)ユーザー名:

stepmail\_neo

データベース作成や権限を与えることができるユーザ名を指定してください。

4)上記ユーザーのパスワード:

データベースを上書きするかどうかを選択してください。

データベースを上書きするか:

はい

通常は「はい」を選んでください。

PHPのバージョンアップの影響でログインできなくなった場合など、

データベースの内容を上書きしたくない場合は、「いいえ」を選んでください

次へ »

以下の画面が出たらインストール完了です。

## インストール完了

システムのインストールが完了しました。

安全な利用のため、以下の処理を必ず行ってください。

- /home/stepmail/public\_html/test/neo.htmlは、サーバー上から削除してください。
- このファイル (/home/stepmail/stepmail.xsrv.jp/public\_html/test/neo\_install\_system.php) は、サーバー上から削除してください。

上記の処理が終わったら、[こちらのページ](#)より、さきほど設定した管理者ログインパスワードで必ずログインしてください。

インストール時にアップロードしたneo.htmlやneo\_install\_system.php、README.txtは削除して、neoディレクトリについてはパーミッションを705等に変更してください。

その後、上記画面の赤枠のリンクに進むとNEOが表示されます。